

「丹後地域における府立高校の今後の在り方」アンケート意見記述

※アンケート調査回答票の「6 府立高校の今後の在り方の方向性として提示した「三つの道」について」のその他欄及び「8 高校の在り方についてお考えのことがあれば自由に記入してください」の欄に記入していただいたご意見を「6」の選択肢別に分類しています。(順不同)

◆「よくわからない」を選択された方

	記述内容
1	近年、発達障害を抱える子どもたちが増えてきているが、(医療の進歩により)適切な支援により、その子の持っている能力が花開くこともある。支援学校に丸投げするのではなく、その子の特質をより伸ばしていけるような高校があれば、丹後から天才がたくさん出るのではないか。
2	登校手段の充実を願う。
3	通学に時間や金銭負担が増えるようなことは嫌である。
4	今回いただいたプリントを見て、学舎制が一番良いような気がするが、デメリットなところもあるので、と不安にも思う。初めてのことなので仕方がないが、また今後どうするかの動きがある(決まる前)に、書面でも教えてもらえると嬉しい。デメリットな部分、部活動。スクールバスが出るにしろ、遠距離移動の時間などで、練習の時間がしっかり取れるのか。子どもたちもいろいろ混乱しないか、など思う。
5	統合ばかりすると、学力の差が出て教師や子どもたちに悪影響になるのではないかと思う。
6	三つの道のそれぞれのメリット・デメリットも両方教えてもらいたかった。
7	子どもの人数が減っても、定員を大幅に変えないでほしい。昔のように近くの公立高校へ地元の子どもが通える時代に戻ってほしいと思う。
8	「今後の在り方」と問題があるならば、何年後には成立するのか。やるなら早く取り組み、結果を出してほしい。子どもが入学(3年後)してから、あれこれ変化するのははっきり言って迷惑である。
9	公共の交通機関が充実していない地方なので、公立高校の通学手段をどのように確保するつもりなのか知りたい。統合し、通学先が遠方になると不便なので、少々無理をしても、私立に通学せざるを得ない。また、統合や再編などにより、現在の教育レベルは維持できるのか。大学入試等を視野に入れ、全国と比較しても遜色のない教育内容の充実を望む。
10	京都フレックス学園構想のように、自分のペースで学べる多様な教育システムが、どこの地域でも誰でも受けられるようになればと思う。
11	まだ先の話なので想像がつかない。
12	人数が少なすぎることでメリットはあまりないように思う。生徒同士の関係もなれあいになり、社交性・社会性の部分が不安である。どのような形がベストなのかは説明会でしっかり聞かなければわからないが、現状維持は衰退するままだと思う。あと、統合は良いのだが、高校のレベルを落とすことだけはしないでほしい。下のレベルに合わせるのではなく、上のレベル、それ以上。最低限のルールにしてほしい。寄せ集めれば良いのではなく、質の良い、キチンとした教育を。あと、懇談会の時間帯を考えてほしい。本気で聞きたいと思えない時間帯である。15時～16時30分など普通に無理
13	勉強、勉強、ばかりは息がつまりそうだが、義務教育とは違い、やはり自分のために高校へは行くものである。興味があるもの、得意分野を見つけ、そちらの方向へ進めるよう、サポートしてもらえればと思う。
14	今でも通学が不便な(交通の便が少ない)中、統合されると通学に時間もお金もかかり大変困る。
15	近くの学校に通えない、または学舎制になると、通学に関する子どもへの負担は大きくなると考える。その分通学にかかるお金の問題(バス代、電車代など)や塾への送迎なども考えると、親子ともに負担になり、勉強したい子どもにとっては大変な時代になっていくのかと思う。
16	通学が不便にならないようにはしてほしい。
17	よくわからない。
18	進学や就職への大きな分岐点なので、近さや人数だけを考えて決めるべきではないと思う。
19	統廃合や学舎制になっても仕方がないと思うが、その際の、子どもたちの交通手段はきちんと市が各家庭の負担にならないように、考慮してほしいと思う。各家庭の金銭的負担が少ないことを望む。
20	通学圏を旧与謝、丹後教育局範囲ぐらいのそれぞれに限定(普通科)してほしい。
21	通学が便利なことは子ども、保護者にとって、とても大切なことである。高校が遠方になるととても負担に思う。近くの高校が最適な環境であってほしいと願っている。質の低下とならないよう、再編してほしい。
22	統合することにより、学校ごとのカラーがなくなり、学力が落ちないか心配
23	通学が困る。スクールバスなどがあれば統合もありかも。
24	丹後地域の生徒は、スポーツ、陸上に優れている生徒もたくさんいる。宮津・与謝ではスポーツ学科のような専門学科がないため、交通の不便さを感じながら通わなければならない。特に冬場は積雪もあり、親の負担も計り知れない。学舎制もメリットはわかるが、デメリットは何か。一つの高校内で、宮津高校、加悦谷高校との生徒を分けて先生が行き来する。生徒内、もしくは保護者内での宮津の方、加悦谷の方と、変なわだかまりなどおきないか。
25	学舎制が良い感じだが、今の段階ではよくわからない。最近では大学進学が当たり前になっているが、中には就職希望もあると思う。そんな時に、社会に出てからのルールなど、すぐに役立つ知識なども教育してもらえるとありがたいと思う。
26	縮小は仕方がないことかもしれないが、わが子が高校へ行くとなった時、交通費、学費など、予算が増えると家庭が苦しくなるため困る。専門分野を充実させてほしい。資格取得など。

	記述内容
27	北部に住んでいる人たちが、再編や定員数削減などで、通学時間がかかりすぎないようにしてほしい。
28	仕事で統廃合したこども園にいるが、子どもが多すぎるのもどうかと思う。デメリット、メリットがよくわからない。予算、子どもの人数だけでは統廃合に賛成できない。今から高校に通う世代にも広く意見が伝わるようにしてほしい。
29	早い者勝ちのような受検でなく、先を見て高校進学をしないと、先に進むという必要性や先の喜びへの努力がわかる前に挫折しないか心配な点がある。
30	どんどんややこしくなっている気がする。
31	話を聞いてみないとよくわからない。
32	子どもが少なくなるからといって、入れる人数をどんどん少なくされるのは困る。やはり近くの高校に入れる方が良く、お金もかからないことになると思う。今も、なぜ今年入れる人数を減らしているのかわからない。結局勉強のできる子のみ入りたい高校へ入れる仕組みになっている。子どもにお金をかけてやれるかにかかっている。
33	高校が少なくなったり、小規模になることにより、お金のたくさんかかるところに行くしかない、というようなことにならないようにしてほしい。今でさえ入れる人数が少なくされ、近くに入りにくくされてしまい、困っている。
34	小規模化による課題について、何年後になっても生徒数が10、20人になるわけではないので、今の現状で集団活動が薄れることはない。活力の低下になるとは思えない。部活動についてはあがっている課題が出てくる可能性もあるが、丹後で合同チームにするなど、考える手段はある(今でなくても今後でも)。府教委に真剣に考えてほしいのは、補助金等の問題を第一に考えるのではなく、今ここで生活している未来を担う子どもたちにとってどういう教育ができる環境が一番望ましいか。子どもたちのことを第一に考えてほしい。現状を継続してもらうことが希望だが、難しければ学校規模の確保は必要だし、教育内容の充実ももちろんのこと検討してほしい。
35	懇談会や説明会、書面等で情報を集めてから考えたい。子どもの人数は減少しても、充実した学習環境を準備し、丹後の子どもたちが、地元や進学先で力が発揮できる教育を高校でしてほしい。
36	高校だけではなく、保育所、小学校、中学校でも統合がここ数年多く行われていく中で、その地域から学校をなくすことで、地域の方との交流等が少なくなってきた。やはり、地域ごとに高校があるのが理想だが、子どもの減少がある限り、難しいことなのかなと思う。
37	子どもも親も将来を見据えた高校選びをする。どのような形になるにせよ、どうか高校3年間の学びが、将来の道しるべとなるような学校づくりをしてほしいと思う。カラーのある学校づくりをしてほしい。
38	学舎制の場合、教員が学舎間を移動して授業するとあるが、その教員の移動に係る負担はいかがなものか。また、生徒の部活動はそれぞれの学舎間で行うのか。指導される先生によっては生徒間でレベルの差が出ないか。久美浜高校ならポート、網野高校ならレスリングが有名だが、各々の伝統継続をいかがお考えか。
39	統合は仕方がないことだと思うが、通学のことを考えると自転車で通える近い高校も必要な気がする。
40	丹後地域で府立高校を1校に統合。生徒が通えるように京都丹後鉄道、丹海バス、スクールバス等、使用しやすい場所に新設し、教育内容は今まで丹後地域の高校で教えていた内容を設置する。
41	子どもたちが様々な選択ができるようになれば嬉しい。充実した教育内容を選択できることを期待する。
42	三つの道について、三つのすべてにメリット・デメリットが示してあると比較しやすかったが、学舎制が強調されているように感じた。
43	3つの道のメリット、デメリットがわかっていないし、そういったことを今の段階でどれといわれても選択できない。府立、私立と基本的には2択になるが、どこの子どもも貧富の差に関係なく平等に教育を受けられるよう、高校教育(通学等の費用も含め)に係る費用を無償化していくべきと思う。親が多くの収入を得ているなら、授業料を取っても良いと思う。
44	どの方向をとっても課題はあると思う。故に実際やってみないとわからないというのが本音。学校の課題に立ち向かう姿勢と、そのための人材(教員)育成と地域、保護者の協力が大切だと思う。公聴会にも参加し、私の考えも伝えたが、ひとつ言い切れなかった点について、フレックス校を丹後地域につくってもらえるのは賛成である。私の周りに京都市内のフレックス校に行かせたいという方もいる。私の子どもも高校選びの選択肢が増えることで、とてもありがたい提案である。ただ、本当に丹後圏は交通の便が不便である。自動車もバスの本数も少なく、特に久美浜、弥栄、丹後、伊根などでは。そのあたりを配慮してもらえればと思う。丹後圏にも多様な子が、多様な選択ができるような配慮をお願いする。
45	子どもの数が減ってくるのは仕方がないことかもしれないが、各学校や学科の定員を子どもの数に見合った定員にしてもらわないと、近い高校(希望する)に定員の基準が理由で入れないことにならないようにしてほしい。
46	家から近いのが一番良いが、それも仕方がないと思うので、せつくなのでより良い教育ができるように変わってほしいと思う。
47	統合は仕方がないことだと思うが、通学のことを考えると自転車で通える近い高校も必要な気がする。
48	第3順位まで選択でき、確実に公立高校に進学できるようにしてほしい。
49	大人の都合だけでなく、子どもたちのことを第一に考えて決めてもらえば良いが、受け皿が減ってしまっているような事態にはなってほしくない。
50	とにかく地元の高校に行かせたい。子どももそれを望んでいる。子どもたちのことを第一に慎重な検討をお願いする。
51	通学が遠距離になると負担も大きいですが、あまりにも少人数だとそれもどうかと思い、どちらにしたら良いのかわからない。自身は久美浜高校卒で、4クラスだったので、他と比べれば少人数の学校だったが、それはそれで先生にも目をかけてもらい良かった。単純に人数をそろえれば良いという問題ではない。また、若い頃から専門の分野を学ぶのも良いが、そのために「普通」の授業が受けられなかったので、進路が変わった時のサポートもほしい(卒業後に思った)。

	記述内容
52	全てを残すことは違うと思うが、統廃合なのか、学舎かどちらが子どもや京丹後市の未来につながるのかわからない。
53	受検をする意味がなくなるようなことは、学力低下、意欲低下になると思う。だが、現在のままというのも無理が出てくるように思う。今からのことなので正直わからない。その高校に入って専門の科目を学んでも、京丹後市で職を探すのは難しく、種類も少ない。同じような店ばかり次々とできて、目新しいものもない。高校がどうという問題もあるが、京丹後市として魅力ある街づくりができないのが一番問題だと思う。高校から、都会など憧れる街などに入学するという方法もある。高校だけのことで考えても駄目だと思う。
54	メリット・デメリットが具体的にイメージできない。
55	それぞれのキャンパスごとの具体的な教育内容を教えてほしい。交通手段も保護者の負担になるようなことにしないでほしい。メリット・デメリットを詳しく記してほしい。
56	自宅から近い場所にあることが、本人にとっても家族にとっても安心できることと思っている。どうしても小規模になって、登校距離の遠い場合による対応がとってもらえるなら安心だが、そうでないなら、時間の面でも費用の面でも、逆に学業を充実させるにはロスの方が多いように思うが。
57	卒業後の進路を意識した生活が入学時より送れるように、各々が自分の進路に向かって進められる教育を希望する。
58	通いやすい場所に、学力をしっかりと身につけられる学校があると助かる。
59	人間関係や学力の問題など、諸々の事情がある子ども、高校に行きたいと思う子が登校できる高校は残してあげてほしい。
60	保・幼・小・中と統合されていることもあるので、高校も必要だとは思うが、どの方法がこの地域に合うのか、通学範囲も広がると大変ではないのか、など気になる。
61	小学生の親としては、高校というのはいまだまだ先のことという思いがあり、あまり関心がなかったのだが、今回こういう検討をしているということを知った。どの選択が良いのかよくわからないが、子どもたちが充実した高校生活を送れるように考えていきたい。
62	徒歩、自転車通勤で通学できなくなることによって生じる経済的な負担が気になる。
63	丹後に嫁いできて10年あまり。ここの高校の制度があまりわからない。特色を活かして残せたら良いかと思う。
64	子どもの減少は随分前からわかっていたことなので、こうなることは仕方がないと思う。小学校もたくさん統廃合しているが、残された建物の使い道もよく考えてほしい。もっと、各高校に特色を持たせ、専門性を養うことが大切だと思う。
65	各地で説明会が行われていたが、いずれの日も都合が悪く行くことができず、それぞれの方向性のメリット、デメリットが書面だけでは判断しきれない。
66	I類とかII類の意味がわからない。わかりやすい科にしてほしい。
67	統廃合は仕方がないと思う反面、自分の家の近くには高校を置いてほしいという身勝手な思いは強くある。
68	何とも現時点では言えない。普通科の枠をもっと広げてほしい。
69	今のまま近くに高校を置いてほしい。あまり遠くなると通学の時間ももったいない。その分勉強をして、学力向上に努めることができるのではないかと考えている。
70	高校生が中学生、小学生に教える授業を持ってほしい。上の子が下の子を引っ張っていけるような町づくりが必要だと思う。高校生が自分たちで考えて動けるような生徒になれるような指導
71	全ての子どもたちの通学時間、通学下校手段を考えてあげてほしい。部活動やいろいろな可能性をつぶさないであげてほしい。通学・下校に時間がかかるとやりたいこともできなくなり、可哀想である。
72	交通の便が心配（不便になるのではないか）。保護者も子どもたちも選択するまでに十分な説明をしてほしい。途中でいろいろと変わると落ち着いて学習ができないので、スムーズに行ってほしい。
73	高校在学中に車の免許を（バイクも含む）取得させること。
74	勉強がしっかりできて、将来への道がしっかり選べるような状況にしてもらえたらと思う。公立高校に入れなくて、私立高校となるとお金が心配ではある。進学に有利な公立高校を1校だけでなく、2校ぐらい選べたらと思うが、人口的に厳しいのか。
75	今回、話の内容が初めてのことで、今すぐには返事ができない。懇談会に行き、話を聞きたいと思っている。
76	5～10年先のことを考えると、新たな方向性を考えないといけなくなっているのだと思った。ただ、学校に通うことなども含めた、いろいろな話し合いも必要と感じた。
77	都会で暮らしている方が多い中、地域で仕事を見つけ、地域のために仕事をしている方もいる。学生時代は都会で暮らすことに夢を見がちだが、地域のためになる仕事を見つけることのすばらしさも教えてあげてほしい。
78	各校の特色をしっかり出してほしい。京都市内にある学校よりも、北部は遅れているように思うので、そのあたりをしっかりと考えてもらい、子どもは少ないかもしれないが、そのあたりは仕方がないと思わず、将来のある子どもたちのことを考えてほしいと思う。
79	数年後にそういう状況になるとなかなかイメージがつきにくく、どういう形が良いのかまだよくわからない。
80	普通科と専門学科校とを分けて統廃合はどうか。普通科と専門学科で偏差値の差もあって、本校に行ける子、分校に行く子、みたいなのもあつたり、人数配分的にもなので。各専門学科を一つの高校、普通科を1つの高校と分けてみては。峰山高校、網野高校、久美浜高校の専門科クラス高校と普通科高校のような。二分化はどうか。
81	各校の特色をしっかり出してほしい。京都市内にある学校よりも北部は遅れているように思うので、そのあたりをしっかりと考えてほしい。

	記述内容
82	支援学級に在籍中の子どもの親。それぞれに合ったできる者、できない者にも学べる環境があることを望む。
83	高校受検時、点数があまり良くなくても、公立に入れるようにしてほしい。私立はお金がかかる。受検生が不合格になることなく合格できる高校に。
84	近隣の複数の高校を1つの高校として、その他をキャンパス校とすることが現実的だとは思ふ。子どもが減っていくこともわかっているが、減ったとしても学校に行けない子になるべくでないよう考えてほしい。軽い発達障害の子どもたちも普通高校で学べるように考えてほしい。
85	統廃合、学舎制になった場合、通学手段が難しいと思う。今でも乗り継ぎ等時間がかかっている。
86	いろいろな方向性があると思うが、それぞれメリット・デメリットがあると思われるので、十分な検討が必要
87	現実的に考えると、近隣の複数の高校を1つの高校として、その他をキャンパス校とするというのが現実的なのかと思う。子どもも減ってはいきませんが、減ったとしても学校に行けない子になるべくでないよう考えてほしい。
88	行く高校が（学力がおいわず）ないから農業科のようなのは少し気になる。農業や酪農など本当にやりたくて通う子は良いが、農業に就いている＝低学力という概念が高校生の中に定着することが、農業をしている身としてはとてもさみしいところです。農業をしている人の中にも東大卒や京大卒の人もいます。「農業」を学ぶことに自信をもてるような教育をしてほしい。
89	統廃合、学舎制になった場合、通学がとても不便で送迎をしないと行けないと思う。それはとても困る。
90	学習面だけでなく、部活動など各校の良いところをなくさずに、子どもたちが選択しやすい学校づくりをしてほしい。
91	母校が小・中学校となくなって寂しいので、高校までもとなると考えてしまう。どの子ども将来にしっかりつなげられる教育を受けられるよう、安心して通学させられる学校であってほしい。
92	交通機関が充実していないため、統廃合するのならそのあたりも考えてほしい。大人が送迎できる家庭環境にない子どもたちもたくさんいる。田舎の学校であること、地域との関係、学習面の充実だけでなく、社会とのつながりも考えてほしい。どんな家庭環境でも平等に学ぶ環境を、チャンスを与えてほしい。
93	今日、大部分の生徒は中卒の段階で、将来への展望など持ち得ないと思う。総合的な教育内容で、その中で進学、その他を選択できることが望ましいと思う。
94	今の段階では①継続、③学舎が良いが、今後は②統廃合も必要になってくると思う。水面下でいろいろな話があることは伝わってきていたが、今回のこのアンケートで方向性がわかり、良かった。生徒数が少なくなるので何らかの方向を探らなければならないと思うが、どの方向になっても通学の負担が大きいため、交通手段への配慮はお願いしたい。交通手段がしっかりしているのであれば、②統廃合でも良いと思う。
95	その地域の状況にもよるが、小規模にすることがとても重要だとは思わない。小規模にして教育内容を充実させたり、特色ある学校にすることも良いと思う。
96	選択肢が少ない。学べる環境を充実してほしい。
97	今年中3なので受検生なのだが、2年後、子どもの数の大幅な減少に向けて、昨年と変わらない生徒数があるにも関わらず、募集人数が大幅に減っていることは疑問に思う。
98	高校だけでなく、小中高一貫としても良いと思う。
99	専門性のある学校づくり（将来を考えた高校選択をしたいから）。同時に通学バスの整備もしてほしい。伝統あるクラブ、良い成績を残しているクラブは存続させてほしい。
100	学舎制でも仕方がないかと思うが、現在、高2で宮津高校へ通っている長男のように、丹後の公立の中で、レベル的に一番上の宮津高校が加悦谷高校とくつつくことで不都合が出ないのか。現在の宮津高校と加悦谷高校では授業の取りくみ方も違うし、子どもの意識も違う。その2つが合わさった時、学力面が心配である。京都北部から都会へ進学を目指す者にとって、宮津のような高校は単独で残してほしい気持ちもある。
101	統合は仕方がないことだと思うが、通学等のことを考えると、今のまま自転車で通える近い高校も必要な気がする。
102	昔と変わり、自分が住む地域の近くの高校に進学できにくくなっているのは、とても本人、家族にとっても負担が大きいと思う。少子化で学校数が減ると、ますますそんなことが増えるのは、全体としても良くないのではないかと思う。
103	学級数、学級内の人数が減ることで、様々な人間関係を築きにくくなることは残念である。しかし、安易に統廃合するという考え方では、学びたい内容が異なる等の問題が生まれるのではないかと考える。では、学舎制にするのが一番良いのではないかとも思うが、なぜ海洋高校と峰山高校のみ単独校として継続させるのか疑問である。この2校のみを単独校として継続させるとした背景をはっきりさせてほしい（距離の問題という理由では納得はできない）。
104	母校がなくなるのは寂しいことだが、統廃合などは仕方がないと思うが、どのやり方がベストとか言われると、難しい選択だと思う。
105	高校は自分の将来を決めるきっかけになる場だと思うのだが、地域にもっと子どもたちの可能性を拡げる何かがないと。少子化は、結局学校のことだけでなく、京丹後市全体のことだと思う。高校から都会の方に行く選択肢もあるし、統廃合が進むのは少子化対策や若者の地元離れなどへの対策が不十分だからだと思う。こういう変化の年に当たる家庭の負担も大きいと思う。
106	親の経済的負担も考えながら統廃合をしてもらわないと、収入の少ない世帯は高校にも行けなくなってしまふことを忘れてはいけないと思う。
107	統廃合の話をする前に、通学しやすい交通網を考えてほしい。金銭面に関してもお願いする。
108	各高校が結構離れていると思うので、学舎制となった場合、移動などはどうなのだろうと思う。

	記述内容
109	子どもたちが安心・安全に通えることが大前提。自立・将来へ向けて、ただの通過点ではなく、少しでも成長できる場所(高校)であってほしいと思っている。人数が少なくても多くても、高校(学校、教師)の在り方についての思いは同じである。
110	将来どこに進むか決まっていないう子どもにいろいろ考えさせ、選択させる科が少なくなってきた。普通科も選べなくなるとは丹後全体の学校のレベルが下がるのでは。学舎制のメリット、部活動の合同練習(移動)の時間が無駄では。今のままでは選択の幅が広げられないのか。先生が移動するだけなら、今のままで、小中一貫校みたいに先生が他の高校に教えに行く、では駄目なのか。人数が少なくなるから学校は減らしても良いという考えはどうなのか。人が住みやすい町づくりの意味がなくなる。ますます田舎離れになる。
111	高校ごとに特色を打ち出すことで、希望に沿った高校選択ができると思う。
112	学舎制となった場合、京丹後地域において、峰山高校、網野高校、久美浜高校の3高校を1つにすることは無理なのか。
113	通学しやすいなど便利性を考えるが、今後の生徒数などを考えると、思いきった統廃合なども必要なかもしれない。生徒数の減少がわかっているようであれば、中途半端にはしない方がよいと思う。
114	この先、どの位人数が減るかよくわからないが、統廃合になると学校が遠くなってしまいう人もいる。そうすると朝家を出るのが早いから、弁当も早く作らないといけないし、交通費も負担しなくてはいけない。そういった親への負担は大きくなると思う。
115	学舎制のメリットしか書いていないが、デメリットはないのか。懇談会が平日の昼の時間だが、参加できる人が少ないのでは。
116	学校の規模は大きい方が良いが、統廃合で近くに学校がなくなると、交通手段も少ない田舎で通学がさらに不便になることが心配。困る。
117	子どもの減少はわかっていることなので仕方がないという思いはあるが、兄弟2人を通わせるとなると、交通の便やもろもろ考えると、今のままであってほしいという思いもある。
118	少子化が進み、今までの体制を維持することが困難であることは理解できる。説明の場をもっと設けてほしい。懇談会については平日の昼間が設定されており、働いている者には参加しにくい(それぞれの地域で、土日の夜間、昼間の開催は無理か)。
119	生徒数が減少している中、高校の在り方を変えていくことは必要だと思う。高校により普通科の格差がないように(少ないように)と望んでいる。ハイレベルな対応もどの高校も可能になるようにと願うが、何よりも人間として生きていく力、人間性を学べる場として生徒が高めあえる高校になれば良いと思う。
120	何が本当に子どもたちにとって良いのか、現段階ではわからない。
121	今後生徒数が減っていくので、今のままではいけないと思う。三つの道ということで、学舎制を進めたいとあるが、どんな感じなのか、いまいち理解できていない部分があり、賛成とも反対とも言えないが、統廃合という方法は避けてほしいと思う。
122	統廃合が良いか、学舎制を導入するのが良いか、どちらかが良いとは思いますが、どちらが良いかわからない。学校の特殊性を残しつつ、子どもが将来を選択できる高校をつくってほしい。田舎者でも中・高校生で発達段階の自己の確立を達成し、社会の一員となれるよう、一定の規模は必要だと思う。
123	学舎制にした場合、部活動、体育祭、文化祭、PTA等どうするのか。校風も異なる、学生の色も違う。まとまる対策はどう考えているのか。なぜこの再配置なのか等、子どもたちの高校生活を一番に考えている内容であれば、ありがたく受け入れられる。
124	学舎制のメリットがまだピンとこないのだが、懇談会等参加したいと思う。
125	子どもの数が目に見えて減少する中、統廃合することにちょっと抵抗がある(交通の便)。しかし、人数が少ないことで、たくさんの教育や部活動が制限されるのも可哀想な気もしている。
126	近隣の複数の高校を1つの高校として、その他をキャンパス校とするなどが現実的な考えだとは思いますが、子どもが減っているのはわかるが、減ったとしても学校に行けない子どもができないよう考えてほしい。軽い発達障害の子どもも普通高校で学べるよう考えてほしい。
127	検討状況を読ませてもらうと、学舎制での検討が中心となっているようだが、もし学舎制となった場合、部活動は学舎毎に行うのか。一校として公式戦に出場する場合など、練習はどうするのか。具体的なことが知りたいと思う。また、伊根からの通学にはどこへも交通の便が悪いので、そのところの改善も考えてほしいと思う。
128	各高校とも残ってほしいとは思いますが、1学年1クラスほどの小規模だとしたら、そうとは思えないし、統廃合した場合、地域が広範囲になり不安になる。学舎制というのも良いとは思いますが、宮津高校・加悦谷高校の場合、普通科-建築科とはなりにくく、普通科で分けられるとなると、それはいかがなものかと思う。クラブでも学校が離れていると一緒にできにくいので、それをどう解消するかが問題。H33に激減するので、できるだけ早く方向性を決めたいのはわかるが、性急に進めないようお願いする。また、変わるまでに段階的に変えて、その学校に既に入った子たちが混乱しないよう、高校生活に意欲を損なわないようにしてやってほしいと思う。分校について、人数的に1つの学校にというのは仕方がないと思うが、どの学校もだが、駅周辺より離れていて、通いやすいよう、公共交通機関と調整する必要がある。今、伊根分校は加悦谷・宮津から通いやすいように、朝2・3本、夕2本程出ている。京丹後1、宮津与謝1でも良いのではと思う。
129	通学が大変になるので、高校が遠くなるのは困る。
130	淑徳高校のような専門の科がある学校があれば、と思う。高校入学定員で、その地元高校への定員の何十%が地元の中学校分で確保されているというシステムもいまいち理解ができない。統廃合・学舎制にするのなら、フラットな状態から新体制にしてほしい。
131	三つの道のメリット・デメリットを十分に議論できる機会をさらにつくり、地域(将来の保護者)の声をしっかり聞いた上で、この質問を問うてほしい。「~すべき」の根拠がわからないので。
132	宮津高校と加悦谷高校を一緒にすると、全てにおいてレベルが違いすぎる。

	記述内容
133	「三つの道」と示してはいるが、府教委は第三の方向で検討を進めると言っている。イメージとして宮津高校、峰山高校は進学校という感じで、勉強しないといけないというのがあり、そこを目指して頑張ると、志望高校に行ける子はそれで良いと思う。加悦谷高校は、私の甥が通っているが、楽しく通っている（勉強に追われない感じ）。普通科のある公立高校を与謝野町には残してほしい。何人が中卒で社会へ出るのだろう。ほとんど高校へ進学する中で、工業科へ行く、農業科へと希望する子がどれくらいいるのか。高校は普通科で学んで、次の進路選択で専門的な方向を目指す子の方が多いと思うが、今、高校受検で工業・商業・水産などを選んでいるのも、職業科で学びたいというより、成績や部活動や、他の理由で選んだ結果というのものではないか。
134	学舎制が理想だが、校舎の維持等費用の問題が出ないか気になる。
135	このアンケートは本当に活かされるのか。学舎制になることで本当に質の高い教育ができるのか。
136	どのような仕組みになっても、子どものやる気次第だとは思う。しかし、先生によって変わるところも大きいと思うし、難しい。それより、通学にかかる時間や方法についての心配が大きい。本来、高校は義務教育ではないし、学舎制のように専門性の高い先生に教えてもらえる機会がある方が良いと思う。しかし、自分の高校時代を思うと、そこまでしっかり考えられていなかったと思うし、先生との関係に左右されていた部分が大きかったように思う。そうすると、先生との関係が希薄になってしまうのではないかと心配もあるし、難しい。
137	専門制を導入し、分野別の学校へ
138	これからの子どもたちに何が一番必要かである。
139	他の地域と同じような教育を提供してほしい。
140	少なくなっても学校はなくならないでほしいが、教育内容が今のままできないなら統合しても良いかも。
141	普通科を主とした学校同士の学舎化のメリットがよくわからない。どの道もメリット・デメリットがあると思うが、急がずにじっくり検討してほしいと思う。
142	今まで当たり前にあった高校がなくなることは残念に思うが、時代の流れで、このような問題になることは仕方のないことだと思ふ。親の気持ちとしては、家から近く、子どもの力で通学できる範囲内であれば良いと思う（バスや汽車通になると母子家庭なのでお金がかかると大変困るのでスクールバスをお願いしたい）。具体的なことはよくわからないが、まず子どもたちがあそこの高校に通いたいと夢や希望を持って通える学校づくりを希望する。
143	継続してほしい思いもあるが、教育内容の充実を図るべきだとも思うし、子どもの意見も大事だと思う。
144	子どもが自転車で通える距離に高校があれば嬉しいが、少子化ということなら仕方がないかもと思う。
145	学舎制のシステムが読んでもわからない。メリット、デメリットの説明必要。大学に行く時に初めて自分の進路を考える。その時に勉強しても遅いと思う。工業、農業、水産など、もっと専門的な分野を取り入れていった方が良いのでは。
146	「三つの道」があること、学舎制を検討していることはわかったが、デメリットが書いていないのはなぜか。
147	現在、子どもが汽車通学で高校へ行っている。やはりいろいろな面で親の負担も大きく大変である。本人の希望で近くの高校へは行かなかったが、末っ子の時も、近くの高校もあり、その中から自分の行きたい学校を選択できればと思う。
148	近くの高校がなくなったりすると、通学が大変になるので、できれば近くに残してほしい。
149	2校が1校となった場合、例えば、普通科も一本化されると、レベルの違い、将来の進路の差をどうしていくのか。
150	家計の負担が重くなるのが心配。家計のことや交通のことが心配
151	地域に高校がなくなるのは寂しいが、子どもが少なくなる現実を考えると仕方がないと思う。1つにすることが出来るものは1つにして、校舎を直すなどして、より良いものにしてほしい。どの校舎も古く時代から遅れている。
152	本当に三つの道しか選択肢がないのか疑問。より良い高校進学をみんな希望する中、近くの高校より遠くを希望しなくてはいけないので。お金もかかるし、仕方なく行きたくない高校になる場合もある。
153	自宅から近い加悦谷高校が魅力ある高校であれば、子どもも無理して遠くの高校を選ばないだろうが。校風や進学率などから宮津高校、峰山高校を選ぶ子どもも増えている。親としても落ち着きある高校の方が安心できるので、加悦谷高校もそうしてほしい。
154	何が一番良い方法なのかわからない。
155	小規模で継続だけは賛成できない。
156	住まいが与謝野町なので、自転車で通える加悦谷高校がなくなってしまうというのは困る。高校の数が減ることによって、今よりも受検の競争率が高くなったり、入りにくくなるということが起きないのであれば、高校の在り方が変わっても良いと思う。大学に行くなら宮津高校へ、就職や専門に行くなら加悦谷高校へと聞かすが、頭が良い、頭が悪いと、とても差が生まれるように感じるが、なぜこんなに差があるのか知りたい。
157	学舎制になるのであれば、通学の問題のクリアが必要だと思う。現在も与謝野町から宮津高校に多くの子どもが通っており、朝夕の駅の送迎の混雑ぶりはかなりのものである。学舎制に合わせ、通学時のバス運行についても検討してほしい。
158	宮津以北で一校。少人数の中で受ける教育にもメリットがあるかと思う。少子化で、この先、ますます都心との格差が出てくるのが懸念されているので、以北で一校にして専門学科を充実できれば良いと今は思う。
159	統廃合と学舎制の細かい違いがよくわからない。どの高校に通っても全国レベルに通用する学力がつけられることは大事だと思う。
160	都会と田舎の不公平は困る。
161	贅沢が言えるなら、地元の高校に通えればと親として願う。

	記述内容
162	生徒数の減少により、学校の再編は仕方のないことだと思う。ただ、母校がなくなるのは寂しいことで、旧第四中学校だった宮津高校の歴史もなくなるかもしれない。地域のこと、子どもたちのことを考えると、どうしたら良いのか迷う。
163	高校の授業料が無料化されたら先生の数も減るのか。分校などに先生が行った場合、本校の生徒はどうなるのか。
164	子どもの数が少なくなっているの仕方のないことだと思う。ただ、今まで以上に過度な競争が生まれ、多くのストレスを抱えなければいけないのかと不安になる。また、自分が卒業した学校がなくなったり、名前が変わってしまうことは寂しく思う。
165	もう一つよくわからない。詳しく知りたいが、今、中3なので直接は、今は大丈夫かなとも思う。
166	子どもが大学等への進学を考えた時、都市部等と変わらないだけの教育を平等に受けられる、同等の学力を身につけることのできる教育環境を整えてほしい。大人の都合ではなく、子どもたちのことを一番に考えた在り方を考えてやってほしい。
167	どれだけできるのかわからないし、その時にならないとわからないので、今のところは決められない。

◆「その他」欄のみ記入された方（選択肢の選択はなし）

	記述内容
1	統廃合することになっても仕方がないと思うが、通学の不便さがないようにすることを考えてほしい。
2	近隣の学校に通えるように定員を調整してほしい。できるだろう。なぜ人口が減っているのに自分が楽に入学ができた宮津高校に入るのが難しくなっているのか。納得できない。よその市町から入学するために入学が困難になっている様子だが、その分、枠を増やせ。通学費や下宿代のことを考えてほしい。私学と談合しているのではないか。今どきSNSもあるので、何かあれば訴える。
3	小規模か学舎制もやむをえない。今は高校→進学の選択が高いと言えるが、進学すると地元を離れてしまい、地元の若者力が低下していると感じている。丹後地域は海・山ともに特産が生まれ地域性もあると思う。中途半端な高額な出資ではなく、とことん価値のあるもの（大学との連携やインターネットの有効活用など）を追求した商品開発やマーケティング力を向上するような支援さえあれば、他の地方からも注目を浴び、地域の活性に繋がるのではないかと思う。専門力に焦点をあて、老若男女が明るい未来になるパワーや在り方が大事なのではないかと思う。
4	各学校の特性を活かしてほしい。田舎に住んでいるから、学びたいこと、進学の道をあきらめさせてはいけない。今の状態でも、田舎と都会では学校・学びに差があると思っている。若い人が田舎暮らしから離れると思う。
5	通学の利便性を第一に考えるが、学舎制が良いかどうかはまだわからない。
6	教育内容の充実を優先してほしい。統廃合すると通学するのに不便を感じ、行きたいが断念する人もあるかもしれない。各校の現在の特色を失うことなく、整うような形にしていくのか。子どもにとって高校は夢の実現に向けての過程で必要なもので、大切なところとなるので、良い形であってほしい。
7	集団活動、部活動のことを考えると、再編して学舎制にした方が良く感じるが、再編によって、どれだけの学力の保証がなされるのか。高校となれば義務教育と異なり、一定同程度の学力の生徒集団で、生徒に合った指導をしてほしいので、学内で大きな学力差が生じるようであれば、各校を継続したほうが良い。人数上再編されていくことは仕方がないと思うが、大学進学を希望する生徒が、充実した学習指導を受け、上を目指していくことが可能な学校を維持してほしい（京都市内や福知山、豊岡に出て行かなくてもいいように）。規模や活動ばかりに着目して再編することで、小・中学校と変わらないメンバーでは、高校の意味がないと思う。学力によって一定の線引きを大切にしてほしい。
8	何が正確かよくわからない。仕事で統廃合したことも園にいるが、子どもが多すぎるのもどうかと思う。メリット、デメリットが伝わってこないのによくわからない。今から高校に行く世代にも伝わるようにしてほしい。
9	いろいろなことを考えると何が良いのか正直わからない。バス通学にしても、まずは自宅から子ども自身で通うことが、親としてはありがたい。
10	複数の高校を1つにすると通うのが大変。子どもたちにも意見を聞いてほしい。
11	小規模継続は無理だと思う。学舎制は問題がたくさん出そう。部活動1つとってもどうするのか。専門的なことを学ぶ方が良い。小・中学校では全員同じことをするが、大学に入る前に高校でマニアックな勉強ができておくと、後々とても有利になる。「7（必要な教育内容）」にもつながるが、農業・水産という丹後を活かしたのから、PC等の最先端まで。難しい問題である。正直何が良いか分からないが、このチャンスを活かせるように。
12	質の高い教育が受けられることを望む。
13	自分自身にあった学校を選べないのは困ると思う。
14	どの道が良いか決めれない（各道それぞれ良いところがあるので）。別紙の年度別の人数表を見て驚いている。それを見ると仕方のないことかと思う反面、これ以上高校がなくなり、交通の問題や入試の時に入れるかなど、不安な思いもある。
15	小規模で教育内容を充実させることは不可能なのか。子どもの人数が減っているのだからなるようになるのかなど。その時のなり方を受け入れて、子どもたちが成長していく姿を応援していきたいと思っている。いろいろな案の中、一番の方向をみんなで考えて決めてほしい。
16	統廃合しても希望したい科がなくなるのは子どもの選択も少なくなりどうかと思う。みんながみな普通科ばかりでないと思うので。小規模でも普通科だけでなく、商業に特化した学校であったり、水産に関する教育に特化した学校があることで、子どもの選択枠も増え、子どもの将来にも役立つと思う。

	記述内容
17	あまり遠くに通うことになる子どもが帰りが遅くなったり、目が届かないことが起こることも恐い。
18	仕方がないことなのは分かるが、各家庭の経済状況があるので。今の時代、高卒は難しい。大卒でも難しい（仕事が）。せめて高校まで「義務」だとありがたい。少子化になるのも仕方がない。教育にお金がかかりすぎる。
19	高校の在り方に限定して考えるのは無意味かと。地域の在り方、そして情報、交通、エネルギー、インフラの進歩が考慮されていない。地域の意向を重視すべき。
20	高校の再編など、少子化の中、仕方がないことだとは思いますが、少子化とはいえ、年々高校の定員が減ったと聞いたり、近隣の学区との壁がなくなったり、ということを知ると、近くの高校を希望しても入れないということが起こりそうで不安はある。通学の面で交通の便や費用のこともあるし、やはり家庭によっては、そういう理由で遠方は無理だったり、私立は無理だったりということもあると思う。最近では専門的なことを学べる学科が人気のようだが、なぜそういう学科はクラスを増やしたりして定員が増えないのか。企画経営科が1クラスでないといけない理由などがあるのか。進学に力を入れているようなことばかり聞くが、そういう専門的な学科こそ増やして力を入れてほしいと思っている。
21	大人の都合より、子どもの都合（未来）を見据えて考えるべきである。子どもの人数減少は、一番多かった30～40年前から分かっていたことで、その頃、小学校を分裂させたりした大人の責任、責務である。少ないからといって地域に根付いた高校を再編するのは良くないかもしれない。少数なら少数で、京都府の府立高のレベルを上げるには、メリットもたくさんあると思う。内容の充実を図り、クラスが多かった当時より良い教育ができると思う。年々、少なくなっていく子どもの数はかなり昔から分かっていたこと。あまりにも動くのが遅すぎ。現大人の都合で動いてるようにしか見えない。
22	学舎制は良いと思ったが、メリット、デメリットをまだよく理解できていないので答えは出せない（今の時点のアンケートでは）。今後、説明会に行き内容をよく理解して意見を考える。
23	普通科も今までどおりあるのであれば、学舎制でも良いと思う。
24	近隣の高校を見る限り、教師の劣化が多く見られる。府が決めるのではなく、学校の在り方を確認し、しっかり競争を促してほしい。小学校を見てみると、優れた人材がいなくなることがよくわかる。箱を作る前に中身をしっかりと吟味してほしい。
25	（人口を増やすことを視野に入れるのももちろんだが）減らすことは簡単だが、もっと人を集める努力をしても良いと思う。例えば、米軍の基地ができたのだから、英語に力を入れて米軍と交流をし、英語力がつく科があったりして、丹後地区以外からの入学を図るのもありだと思う。この問題を教育委員会だけのものとせず、人口を増やすために京都府全体の取組にしてほしい。お金さえあればもっと子どもを産みたいと思っている人はたくさんいる。一方で、もう子育てはいいやと思っている人もいる。産んでくれる人にお金が渡るようなシステムがあって、人口が増えて、統廃合の話がなくなることを望む。
26	高校再編は必要不可欠であると思う。統合して前の学校の良さを残しつつ、新しい学校をつくる方が（通学費や寮など市や府が負担）良いと個人の意見として感じる。
27	住む地域によってあまり通学が不便になってくると、可哀想に思う。全く差をなくすことは無理でも、ある程度配慮してほしい。
28	義務教育ではないのでこちらに選択権はないが、大人数だという理由で充実する主張がわからない。統合で改善するのは教育の質ではなく、経営上の効率であることを隠すべきではない。近隣に、学生の狭い知識でも「同条件のライバル校」を残す方が、他を意識する時にあきらめやあなどりがなくて良いのではないかと。久美浜高校のカヌー部など、なくなると残念なこともある。ただ、義務ではないので、こちらに選択権はない。
29	地元に住んでいる者として、高校がなくなるのは寂しいことである。しかし、少子化で在り方を考えていかなければいけないことはよくわかる。
30	メリットとデメリットをいろいろな方向から出して、わかりやすく提示してほしい。具体的に教員の人数や運営にかかる費用も知りたいところである。高校に通うのに、時間や交通費がどうしてもかかるので、なるべく個人の将来に合った、個々に合った、教育内容であってほしい。教育者の質、導き方がしっかりとしているように願う。子どもたちがのびのび未来へはばたいていけるよう、親としても努力していきたい。
31	税金を払う側から言うと、誰でも入れるような（やる気のない人でも）在り方はどうかと思う。生徒数が減るなら、先生も学校も小規模になる方が無駄が少なく良いのではないかと。質の高い教育、個人の将来を見据えた教育を。
32	分校を廃止し、網野高校・峰山高校として残してほしい。高校の近くの生徒は良いが、他町になると交通の便が大変不便。行事ごとなどバスの便がなく、バスが着く時間などを考慮されていないため、送迎が必要になるので困る。
33	再編しないと教育の質が維持できないのか不明確。少人数の方が良いと思う。
34	最近引っ越してきたばかりでよくわからないが、授業や教育が充実するなら良い。ただ、目が届きにくくなることや登校での送迎のことも検討してほしい。
35	「学舎制を導入すべき」とは思わないが、その方向性は理解できる。ただ、内容はまだ理解していない部分が多くある。
36	地域に学校があることは、地域の活性化にもつながると思い、学舎制も良い導入かと思われるが、移動のロスや経費を十分に検討してほしい。
37	どの道にしても良い面・悪い面が出ると思う。要するに、通学手段をしっかりとしてほしい。京都丹後鉄道で行った場合、駅から学校までシャトルバスを出したり、各校が得意なクラブ、カヌー・レスリング等をなくさないなど、いろいろな意見が出ると思う。すべては無理だと思うが、たくさんの意見を取り入れてほしいと思う。情報公開も忘れずしてほしい。
38	久美浜高校を残してほしい。学舎制・統廃合どちらにしても、久美浜高校の継続を切望する。子どもがカヌーをしているので、良い環境で続けさせてやりたい。

	記述内容
39	子どもの人数が減っていることは事実。教育が充実するものになるよう、再編等は必要だと思う。
40	自分の出身校を残してほしいという思いもある。今、子どもを育てている中、やはり地元の学校を残してほしい。通学が不便になるのは困る。仕事の関係で送り迎えができないので、女の子もいるので、できるだけ近くに学校があるとありがたい。
41	自分の時と時代が違うし、子どもが通うのはまだ先のことで、想像するのが難しい。大人の都合ではなく、子どもたちのことを考えた再編となることを望む。
42	子どもが中学生になり、高校進学を身近に感じるようになり、噂で〇〇高校がなくなるらしいなどと聞くが、実際どうなのかかわからず、親としては不安である。なかなか難しいとは思いますが、充実した3年間の高校生活を送れるように検討してほしい。
43	子どもたちの未来が明るくなるように、たくさんの生徒が近隣の高校へ進学できることを希望する。三つの道、全てを良い方向にできれば良いと思う。自分の子どもが受検生になった今、高校に進学することが(近隣)、難しいことに直面した。3年生になっていろいろ経験し、頑張ろうと思いつつも、1、2年生で努力できていなかったことが影響してしまう。中1、中2の年齢で将来のことを冷静に考えることができる子どもはわずかだと思ふ。軽い気持ちで過ごした日々が大きく影響してしまう現実に、受け入れられない思いがある。
44	まだこの意見に賛成と決められない。
45	統廃合などにより学校が減っていくことは仕方がないことだと思っているが。通学などで、交通費の負担など出てくるのが困る。
46	教育の中身を一番に考えた上で、専門性を充実させ、選択を増やせるように、高校を継続する方向を考えるべき。少子化という名のもと、学校再編を視野に入れていると思うが、子どもたちの将来をどこまで考えているのか。その点は疑問に思うところではある。地元に対してリスペクトできる教育をしてもらえるような環境を整えてもらうことを強く願う。
47	できる限り地元の学校に通わせることを考える時、「学舎制」が良いのかもしれない。生徒の生まれた地域の学校がなくなり、他地域に毎日通う生徒の時間的、肉体的、精神的等々の負担は非常に大きく、勉学に悪影響が出ることは十分予想される。生まれた地域によって、子どもの平等が失われてはならない。多少の経費がかかっても、生徒の一生を考えれば、地元の学校に通わせてやりたいと思う。
46	段階的に、小規模継続→学舎制→統廃合で良い。今は小規模継続
49	1案、3案それぞれに良いと思ひ、決めかねる。各高校、それぞれに良さがあり、方針など多様であった。再編なり、統合なりすることで、特徴のない平均な学校にならないでほしいと思う。
50	再編で検討するなら、今までの高校の特色を残すことも必要かもしれないが、子どもたちが進路の選択がしやすい、また、将来、自信を持って希望し、進学したいと思える総合的な学科の新設を望む。田舎でも、都会に劣らない教育と、選択できるという学園の構想を考えてほしい(統合してしまうと、さらに進路先が選択できないという田舎な事情になってしまうためである。)
51	どの方向性が良いかということには決めかねる。
52	統合・再編をしなければならぬなら、交通網の整備を考えてほしい。通学がしやすいよう、交通機関がないのに学校が遠い、では困る。とりえず、どの学校へ通学するにも交通機関の充実を願う。
53	高校のことだけでなく、交通の便についても話すべきだと思う。
54	子どもの人数が増えるように、子どもを育てるための手当など、高校に限っての話ではなく、もっと根本的なことを考えた方が良いと思う。高校の在り方より、子どもが増えるように考えることが大事なのは。うちは、5人目の子どもが産まれる予定だが、子どもを育てていく上で、不安ばかりである。当たり前だが、子どもを育てるにはお金がかかる。もっともっと子どもを産みたいと思えるようにしてほしい。
55	学力が落ちないようにレベルを下げない統合を。
56	学舎制なら京丹後市内で1つの高校があれば良いのでは。
57	統廃合になって近くの高校がなくなるので、バスが出るような配慮も大事かと思われる。統廃合するにしても、制服を徐々に変更していく等して、捨てなければいけないといったエコに反する行動はなくしていければありがたいと思う。統廃合も仕方がないことなのかもしれないが、制服や体操服等の変更は、お古を使えないことや、捨てざるを得ないといった無駄を生み出し、今の世の中のエコを無視しているようにも感じられる。そうした無駄のないことも考えて、地球に優しい世の中も頭に入れておくべきではないかと思う。
58	統廃合か学舎制で悩む。本音を言えばこのままが良いが、人数が少なくなると、それは困ると思うことがいっぱいである。どうすることが一番、子どもたちに良いのか。じっくりいろいろな人の意見を聞いて、決めてほしい。
59	人数が少ないなら無理に落ちることのないように、皆が進学できるようにしてほしい。統合や廃校は仕方がないのかもしれないが、わざわざクラスを減らしたり、必要ない気がする。定員割れでも落第はきつい。
60	特徴を持たせて、現在ある学校を継続する方が良いと思う。専門的なことも建物があるのだから使用するべき。将来のことがなかなか決められないなど、目標が変わった時に編入できる制度があれば良いのと思う。子どもたちがすべて目標が変わらないと言い切れないし、何も決まってないから普通科に行くという子も少なくないと思う。
61	学舎制がどんなやり方か、書いてある内容だけではわからない。学舎で学ぶ生徒は誰なのか。教育内容がどうなるか。校長が1人で行き来するなど、もっともっと特色ある高校を創造するべき。まじめで大人しい子が多くなっている中で、いかに秀でていくか。地域の在り方とともに、高校の在り方を次世代育成、後継者育成の観点から議論しても良いのでは。
62	今はどこの公立校でも進学できるが、そのことで進路選択に偏りができる。居住地に近い高校に行ける環境の方が、地域のためになるのではないか。

	記述内容
63	府内在住の子どもたち、個々の学力、個性などを伸ばすため、現在のように選択できるよう、確保しておくべきだ。丹後地域は交通の便が悪すぎる。義務教育ではないが、どこの学校を選択したとしても、通学しやすい環境を整えるべきだ。
64	3つとも、理があるので1つに選べない。学業、学校生活が規律の中で、楽しく、良い意味での辛くもありの3年間を送れる高校であってほしい。
65	高校の歴史にこだわらず、将来を見据え、子どもたちに充実した教育ができる在り方で検討をお願いする。
66	統廃合しても子どもたちの人数は確保してほしい。偏らない教育の充実を希望。荒れた高校が出ないようにしてほしい。それぞれの高校に同じ科を希望
67	説明会に参加したいが、突然言われても行けないので、早めに知らせてほしかった。
68	子どもの数の減少を規定路線にせず、他地域（都会含む）から子どもをひきつけられる特色ある学校づくりに取り組むべき。
69	希望としては、各高校をそのまま残してほしいが、生徒の減少でやむを得ないのであれば、学舎制の方が良いような気がする。ただ、統廃合によって高校の教育や勉強の質が低下することが心配である。
70	高卒でも十分に働ける学科があると良い。丹後でも大学・短大の学部を増やし、自宅から通わせたい。
71	スクールバスを出すなどの交通手段を確保してからの統廃合だと思う。行きたいけど通えない子どもは、あきらめて通える学校へ行っている。学びたいのに最終的にはやはり勉強ができないと合格しないのが現在の府立高校。水産、農業、工業など、その地域ならではの産業が学べる学科があるのが公立高校の良いところだと思う。峰山高校の産業工学科デザイン系が募集停止になったのは、丹後ちりめんの伝統産業の地としてとても残念なことだと思う。学びたい気持ちを持った子どもが入れる学科、学校を公立高校で残してほしい。
72	資料より、地域毎の生徒数から学舎制のメリット等を読み取ろうと考えるが、現状は北丹地域の生徒が選択して遠方の学校に通っており、あまりメリットを感じない。統廃合の方が良さそうにも考えるが、ますます遠方の学校へ通うことになると思うと。
73	学舎制がいまいちわかりにくいのだが、クラブや学校祭等を一緒にするのは良いと思う。先生が多くなるのも良いと思う。子どもたちが毎日移動に時間を使うのは反対である。子どもたちがあまり移動せずに、他高校との交流は良いと思う。少人数でも学習しやすい環境があるのも良いと思う。
74	学舎制のイメージがよくわからない。京都市内と違って、学校間の距離がある。移動がネック。ICTも良いが、遠い学舎の子ばかりが損にならないように。どこを中心にするのか。人数の多い学校を主にすることになるので、不平等感が出るのではないか。丹後に限って言えば、地域が広すぎるので、通学や移動の負担がないようにしてほしい。同じ子ばかりが移動しなければならないということのないように、通学バス等、鉄道、バス会社とも協力し合ってほしい。田舎はとにかく移動が大変だということ。高校のランクがはっきりしていることが残念。特色よりもランクで選ぼうとしているのが実態である。各学科の進路先や魅力よりも、進学率のことが前面に出ているので、専門学科の選び方があいまいになっている。
75	部活動の人数確保にはつながってはいないと思う。
76	与謝野町でずっと育った子は視野が狭く感じる。友だち関係も決まった中で刺激が少なく、問題があった時に解決策も乏しい。いろいろなことを知るうちに、自分の町の良さがわかると思う。公立高校のバス通学無料化や電車代の補助、市内進学校と提携して学生寮の枠をつくるなど、高校を選ぶ選択肢を増やしてほしい。
77	高校に行くことが今やあたり前の時代なので、近くにあるのが本当は望ましい。まだまだ模索中の子どもたちにとって、より良い環境で、より良い教育を。
78	一長一短。100%の結果はないと思う。どう100%に近づけるかが難しいと思う。宮津高校、加悦谷高校は残したい。本当にこのことが必要なのか。
79	統廃合には反対する。
80	分校は本校に統合。全日制普通科の学校は残す。
81	第1子と第2子の高校の行き先が違ったのだが、校風や先生の対応があまりにも違い、戸惑いがあった。学校にレベルがつくのは仕方がないだろうが、あまりにも差があるのは困る。
82	中心くらいで新設するなら統廃合。行き先の課題が解決するならば学舎制。宮津には数校あるが、加悦谷地域には加悦谷高校がなくなってしまうと高校がなく、駅も遠い。人数は宮津に比べて多い加悦谷地域に1校もないのはどうかと思う。人数比を考えてほしい。学舎制にした時、本当にどちらも同じように機能するのか。
83	高校の在り方、システムが変わるのは仕方がないかもしれないが、近隣の高校がなくなるのは困る。自転車で通える範囲に公立高校があってほしい。「三つの道」のうち、第1・3は良いが、統廃合の第2は反対である。
84	自宅に近い高校に通ってくれれば、通学時間・費用・親の送迎等の負担が少なく、助かるとは思うが、最終的には本人の希望する進路にあった勉強ができる学校へ行くことになるのだろう、と思っている。
85	できる限り各高校を本校で残せる学校の在り方を考えるべき。統廃合を前提に考えるのではなく、少人数でも魅力ある学校として存続できる在り方を考えるべき。
86	机上の討論だけではなく、現場の生徒、先生、保護者の意見を無視せず、正しい判断をしてもらいたい。子どもたちはかなりのストレスを受ける。
87	各高校を現状のまま残し、それぞれの高校に独自の専門科を配置する。遠くの学校に行けば、交通手段が必要になる。共働きが当たり前になっている現状で、やはり近くの学校を残して行ってほしいと思うのが本音である。専門性を導入し、現在の高校を存続してもらえることに期待する。
88	高卒でも十分に働ける学科があれば良いと思う。高校を充実させるのも良いが、もう少し近辺に学部がそろった大学・短大があると、仕送りに困らなくて良い。自宅から通わせたい。

	記述内容
89	丹後高校キャンパス。自分の得意なことが、地味なことでも伸ばせる環境
90	規模の良さもあるし、また集団の良さもあるので、ベストな方法であれば良いと思う。自然豊かな土地に住んでいるので、その良さや、また、田舎にいながら活躍でき、将来につながる見通しを持てるような教育制度があると良いと思う。
91	普通科通学圏調整の100分の50以内について、当該高校の学区を除く通学圏の区域から入学できる定員数を増やすよう改定してほしい。三つの道よりも先に改善してほしい。普通科においては、合格点を見ればわかると思うが格差があるので、地域の格差を少しでも減らしてほしい。
92	どのようにするのが良いかわからないが、子どもたちが自分で通える範囲内に高校があることを願う。発達的に遅れはないが、ワーキングメモリーの弱さから暗記に苦勞している子どもたちが増えてきていると感じる。ただ、繰り返し覚える勉強法ではなく、イメージが持てるような学習内容に変えていくべき。ワーキングメモリーの弱い子どもたちに合う勉強法を取り入れることで、丹後地域の子どもの学力向上に繋がっていくのではないかと思う。
93	統合するにしても、統合前の学力差は保障されるべき。普通科をそのまま統合するのではなく科を分けるべき。
94	正直どの道が正解なのかわからない。少子化の末、このような府立高校の在り方が早急に解決しないとイケない問題になっているようだが、50年後の丹後地域を考えると、教育以外に早急に取り組まないとイケない課題が、多くの一般の地域の人々にまだ見えていないようで不安を感じる。我が子に自信を持って将来丹後の地で働いてね、と言えるように願う。
95	統廃合には反対
96	できれば、どの学校も今までどおり残してほしい。人数が少なくなると活動が制限されるというのかわかるが、キャンパス化すると本当に子どもたちにとって良いのかわからない。どんなことでも、統合・再編して良くなったことがない（銀行や市町村。手続きも遠くまで行かないとイケない、サービスの低下等）。では、学校が統合・再編して子どもたちが満足して学習し、力をつけることが可能になるのか。部活動も今より不自由になつたりしないのか。それがわかれば答えが出せると思う。今は何とも言えない。
97	専門性を重視した各高校。これからの世代、自分の進みたい道を早くから決めていたり、社会に出てからも分野ごとの専門職が多いと思う。高校からその方向に向かい、導入していくのもひとつかと。

◆「8」の欄のみ記入された方

	記述内容
1	基本は学区内の学校に学区内の子どもが通う。この点で、進学や就職の面で差や不公平と思えるような状態にならないようにしなければならない。
2	希望としてはそのままの継続をと思うが、どうなることが望ましいのかよくわからない。そもそも宮津高校が進学校である必要があるのか疑問だし、学舎制になったら子どもたちにマイナスの面はないのか不安
3	ここに出ている情報は、学生数が少なくなっているということで、私は統廃合もいろいろと検討すべきだとは思うが、数を減らすということに眼を向けるより、生徒数を増やすことに力を入れては思う。例えば、他県からの学生に家賃を半分補助したり、医療費を助成したり、空き家を使い、家族ごと移住できるようにしたり、何か若い人たちがこちらに住むメリットを考え、そこに税金を使うべきではないか。
4	子どもの人数が減少している現在、府立高校の統廃合をしていくことも仕方がないかと思う。この機会にももっともっと高校の特色を活かせるものにしてほしいと思っている。
5	いずれ決まるにせよ、通学の利便性を図るべき。小・中学校と違って、通学時間の限度は高校にはないようだが、とって2時間は長すぎるのかと思う。1時間半ぐらいが理想か。しかし、今でも2時間かけて通っている生徒もいるのが現状か。費用の負担と通学バス、鉄道で一番短い通学時間を獲得してほしい。
6	基本は学区内の学校に学区内の子どもたちが通うのが望ましいと思う。この点で、就職や進学に差が出てはイケないと思う。
7	分校を1つに統合するという点について疑問を感じる。単位制による柔軟な教育システムと書いてあるが、どっちつかずの中途半端な学校になりそうな気がする。それならば、本校の一部分にそのような学科を設けることはできないのか。勉強だけを考えれば統合は理想だが、クラブや友だち関係を考えれば、疑問を感じる。
8	高齢化なので、スポーツや福祉・介護に関すること。身近に感じた高校も、今は手の届かない、将来性を感じない高校になってしまったような気がする。中学生との交流で、憧れやこの高校に行きたいという目標ができると良い。
9	子どもが減るからといって学校の数を減らせば、通いにくい地域も出てくると思う。分校は今も生徒が少ないので統合したら良いのでは。
10	今でも高校への受検が厳しくなっていると感じる。子どもたちが負担になるようなことがないよう。生徒の数が減少しているのも分かる。小学3年生の子が高校受検をする時どうなっているのか不安である。
11	小規模で残したとしても、今までのように学校の活動に活気がなく、学校としての魅力がないのではないかと思う。生徒が少ないから統合とするのではなく、子どもたちが楽しく学び、通学しやすく、希望のかなう高校に行けるよう考えてほしい。親としては通学距離、交通の便、子どもの学力にあった高校の選択肢があることを希望する。

	記述内容
12	学校が1つになっても現在の専門的な学科は残すべき。商業・工業分野は特に残すべき。大学でも学べるが、高校のうちから学ぶことにより、より勉強の幅、進路の幅が広がる。就職するにしても、これからの時代、パソコンは必須なので残すべき。
13	生徒数が減少する一方だが、子どもたちの将来のことも考えた教育内容で、いろいろな選択肢ができるようにしてほしい。
14	現在高3の娘がいるが、今のままで継続で良いと思う。三つの道で第三は最もなしだと思ふ。丹後地域に現在ある高校それぞれに違ったカラーがあり、子どもたちも自分で進路を決めて受検する。このスタイルで良いと思う。毎回統合問題で振り回されるのは子ども。子どもにとって統合はマイナスの方が多い。実際、長女と次女で小学校の統合前後を両方経験してそう感じている。丹後にこれ以上高校が増えることもないだろうから、今のままの継続を望む。母校がなくなるのも切ないし、どうか頑張してほしい。
15	特色があって、子どもたちが選んで受検できるようになると良いのになと思うが、約10年後この地域がどうなっているのか。
16	小規模も学舎制もそれぞれにメリット・デメリットがあり、どちらとはまだ決められない。現在でさえ高校がとても遠い地域もあるので、統廃合は反対である。もし統廃合で現在より減るのなら、通学に1時間以上かかる生徒用の寮など、住んでいるところの子どもへの不公平や負担をなくすようなこともしてほしい。「これを学びたい」「この学校で学びたい」と思っても、通学に長時間かかり、費用もかかるならあきらめようということが今後増えると思う。人数が少ないからこそできることもたくさんあるので、経費面だけでこのことを運ばないでほしい。あと、丹後に京都の清明みたいな高校をつくることは賛成である。丹後の子が通いやすい高校で。
17	現在の日本の就職の状況を見ると、大学進学は職業を選択していく上で必要であると思われるので、大学進学を視野に入れた高校教育が必要だと思う。丹後地域は全体に学力が低い傾向があるように感じるので、小・中学校からの学力向上と、進学校・進学クラスの充実が必要なのではないかと思う。
18	毎日の通学を考えると近くの学校を考える。そのためには各校の充実を求める。今、選択できる学校が昔に比べ広がってきたが、地域から離れて行く理由は何なのか。満たされた学校になるのであれば、統廃合も仕方がない選択かもしれないが。
19	少子化でいろいろな問題があるので、時代に合った対応をしていかないといけないとは思いますが、登校、下校等、親の負担が増えるようなことはとても困る。スクールバスが運行されても、そこに行くのに送迎しないといけない（自転車等の駐輪場の確保不足）等、問題があるような気がする。
20	年々、生徒数が減少していく状況ならば、高校の在り方も変化していくことは必要だが、地域性、交通の便、予算などいろいろな面を検討した上で、住民の意見を充分聞いた上で決定してほしい（住民第一）。
21	統合も仕方がないと思うが、交通の便を考えて検討してほしい。
22	通う子どもの利便性も考え、今の各校で科を充実させたり、特化したりして、各校に個性を持たせる。加悦谷高校にスポーツ科、建築科などをまとめる、など。大学進学率が高くなったが、何も考えずに普通科に入り、大学を目指すだけの人が多い。中学校の先生方も、その子の特性を考えず、とりあえず普通科を薦めすぎ。商業科、海洋科、工業科など、すぐに社会で通用する生きる力をつけることが大切と教えるべき。大学がすべてではない。高校の名前だけで生徒が肩身のせまい思いをするのは、とても可哀想である。たぶん、高校の在り方を考えている方は大卒ばかりなのかな、などと思う。
23	統廃合は必要だと考えるが、小規模校も丹後圏域に1～2カ所必要だと考える。子どももいろいろなタイプがいる中で、ほとんどの子が高校に進学する。小規模の高校も残してもらい、選択肢を広げてほしいと思う。遠距離に行けば良いのだが、親が支援するにも限度がある。近いところでそのような高校があれば、本人も親もどれほど救われるかわからない。
24	交通機関のほとんどない丹後で統廃合等を検討するならば、法律にあるように、16歳からの原付免許取得を容認することも含め、お願いしたい。地域によってはバス停さえ遠く、何度も乗り換えたり、接続がなく、駅に行くにも困難な生徒もある。全て自転車で登校できるわけではない。親、家族の送迎にも限界がある。そんな背景も考えてほしい。
25	高校に差をつけなくてほしい。どの高校に行っても大学進学が目指せたり、同じように教育を受けられるようにしてほしい。
26	親としては家から近い公立の学校に行ってほしいと思う。
27	選択肢を持って決められるのではなく、存続させることを前提で在り方を考えるべき。少人数であってもすぐに廃校か統合を検討するのではなく、どうやって魅力ある学校にしていくかを考えるべきだと思う。こうしてアンケートをとるということは、存続は難しい形だと思うが、いろいろな在り方があると思うので、存続を前提で考えてほしい。